

FREE

ご自由に お持ちください。

No.840

2023 September

9

岐阜県の森林・林業

もり 森林のたより



News of the forest



「岐阜県木の国・山の国県産材利用促進フォーラム」を
開催しました



●詳細は4・5ページをご覧ください



編集・発行 公益社団法人 岐阜県山林協会

E-mail sanrinag@quartz.ocn.ne.jp

<http://www.g-forestry.or.jp> (公社)岐阜県山林協会の情報をご覧ください。



多治見市廿原町の事務所にて
(左から下條さん、市川さん、細川さん)

続け、若いチカラ ～新規入社第2弾～

株式会社山田林業

市川 咲希さん・下條 快斗さん・細川 和音さん

森林技術者の若返りと育成を図るため、積極的な新規採用に取り組む(株)山田林業(多治見市)では、令和3年度に若い2名が入社しており、本誌でも2022年1月号(820号)でご紹介しました。今回は、その第2弾、翌年の令和4年度に入社された、若い力として期待される3名の方々をご紹介します。

山田林業に就職したきっかけは？

(下條さん) 私は土岐市出身で、高校に続き、大学でも野球に打ち込んでいました。大学生の時に、同社に既に入社していた高校時代の先輩から声をかけてもらったのがきっかけで、アルバイトをさせていただきました。実際に、自分の目で、熟練の方による伐採の技を見て、教わりながら、自分でも体験してみると、木を伐ることは、ただ、機械的なものではなく、色んなことを考えて、技を持って、伐るという奥深さを感じることができました。それがきっかけで、ここで働こうと思いました。

(市川さん) 私は長野市出身で、大学は鳥取県、専攻は環境系でした。林業についても学ぶ機会があったことから、林業系の仕事に興味を持つようになりました。森林系の県職員を検討する一方で、民間企業についても調べていました。地元から離れた地で働いてみたいとも思っていました。調べていると、弊社は、私の地元から程よい距離で、地域に根差した会社だと知り、興味も持ちました。そして、岐阜県という地域にも以前から興味がありました。

(細川さん) 私は香川県の出身で、大学では木の彫刻に取り組むなど、美術系の専攻でした。ある時、大学の講義中に先生が彫刻の素材である木材を産み出す林業の大切さについて熱弁していました。私は、元々、林業のことをほとんど意識したことがなかったのに、



その話を聞いてみると、林業って面白い？と興味を持つようになりました。企業を探している中、カフェなど多角的な取り組みをしている弊社が面白そうだと興味を持ちました。私は、体を動かすことは得意ではなく、大学までは、スポーツの経験もほとんどありませんでした。でも、これを機に、やったことのないことに、チャレンジしてみようと考えたのです。

実際に就職した感想は？

(下條さん) 様々な現場で、様々な景色を見ることが楽しく、飽きがありません。山の上から見下ろす広大な景色、街中の生活感溢れた景色など、とても清々しい気持ちになります。私は、0.45クラスのスラッシュ、ストレンジャーなどを操縦させてもらっています。この他にも、チェーンソー、刈払機での作業をし、業務も森林整備に限らず、木や草を伐るという要望に応じて、様々な事にチャレンジさせてもらっていることを実感しています。

(市川さん) 女性ということ、難しいこともあるだろうと思っていましたが、職場の先輩方が親切で、全くそんなことはありませんでした。特に、私たちの前年に入社された女性の先輩がいらつしやるのは心強いです。あと、のびのびと業務をさせてもらえると感じています。髪の色も自由なんです。1年半経った今、随分と体力がついてきたのが分かります。

(細川さん) 自分では、素早く作業を覚えたり、こなすことが難しいと感じる場面でも、先輩方は我慢強く丁寧に指導してくださって、とても有難いです。体力仕事なので、疲れは体に溜まります。そんな時は何よりも、睡眠をしっかり取ることが一番だ！と実感しました。

地域との繋がりがりや活性についての考えは？

(下條さん) つい最近、材木屋で働く地元の友人と一緒にいる時に、私は木材を出す側、友人はそれを作る側として、協力して、今人気のサウナを作れたらいいね、という会話をしました。そんな風に

地域内で一緒になって、楽しいことを造りだせたら、その輪が広がれるのではないかなと思います。

(市川さん) 大学生の時、森や木を感じて、癒しの力を感じるみたいなイベントに参加したことがあります。例えば、自社有林をきれいに整備して、人がそこに来て、気持ちよく感じてもらうことができた、色んな人との交流の場として、活用できるのではないかと思います。

(細川さん) 仕事で、小学生(低学年)の子どもたちと学校内の木と一緒に切る行事のお手伝いをさせていただきました。みんな、本当に楽しそうに作業してくれて、こんな風に地域とも一緒にになれるような繋がりが作れたらよいと思います。

今後の抱負

(下條さん) 私はアーボリストのように、高所での特殊伐採といった高度な技術を必要とする作業ができるよう頑張りたいです！

(市川さん) 造材方法で価格が変わる素材生産の現場で活躍できるよう、チェーンソーさばきの技術力を高めたいです！実は、当社には、この4月にもう1名女性が入社して、今、女性の技術者は4名います。女性が活躍できる職場としてみんなで頑張りたいです！

(細川さん) チェーンソーと刈払機をうまく使えるよう、精進しています。とにかく、太い木を切れるように頑張ります！

【東濃農林事務所
林業普及指導員 上村康人】

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0572-231111 内線(290)

東濃農林事務所まで

